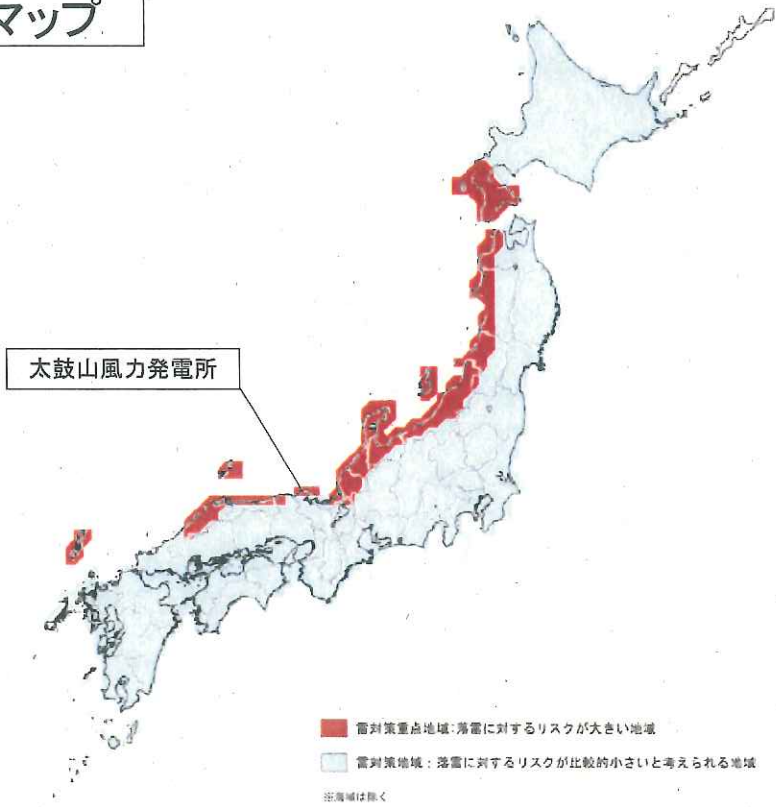


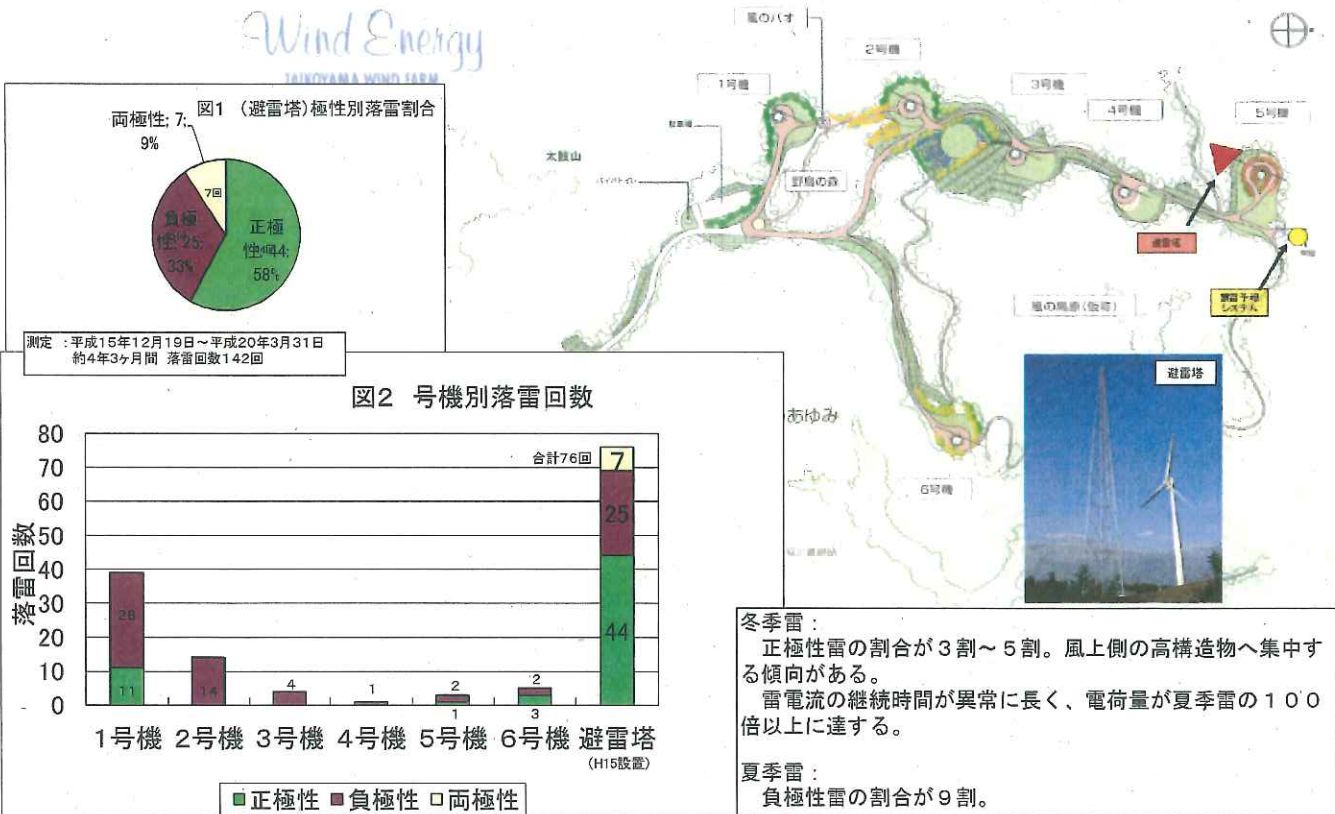
太鼓山風力発電所の立地状況

落雷リスクマップ

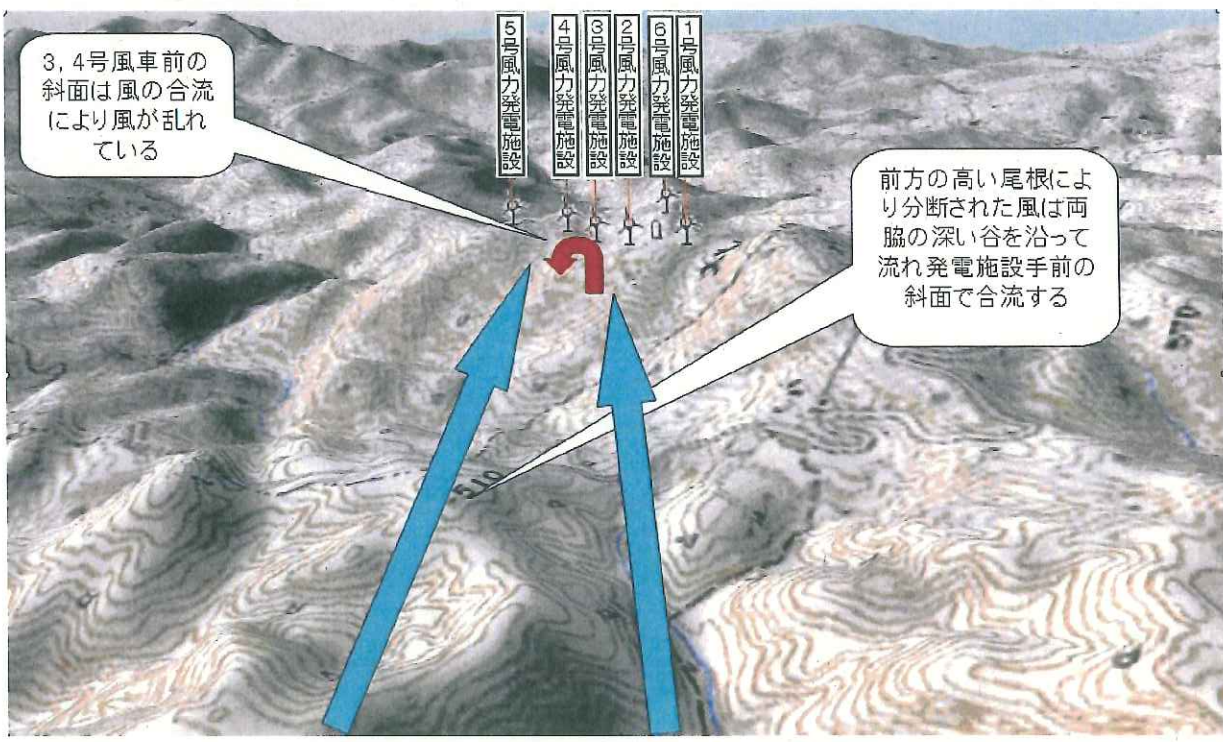


NEDO 日本型風力発電ガイドライン (H20.3発行) 落雷対策編P16

落雷被害の状況



乱流の発生状況



前方地形の尾根及び谷により、風の流れが分断合流する。

積雪状況

積雪期間中の故障は、対応できない。

- ◆ 12月～4月中旬は積雪期間である。
- ◆ 故障対応で資材の搬入に車両や重機が必要。
- ◆ 冬期は風が強いため、クレーン等の車両は使用できない。



風車3～5号機



開閉所周辺積雪状況

落雷対策の状況

①現 状

避雷鉄塔：2～6号機に対し、一定の効果がある。
太鼓山には、有効な増設スペースがない。

耐雷ブレード：1号機に共同研究として設置。
落雷はあるが修繕に至っていない。有効である。

②今後の対策

避雷鉄塔は、スペースがなく増設できないため、今後は耐雷ブレードが最も有効な対策となる。

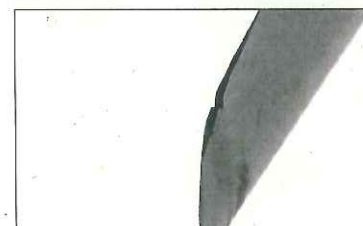
③費用

耐雷ブレード交換費用 **60,000** 千円/基

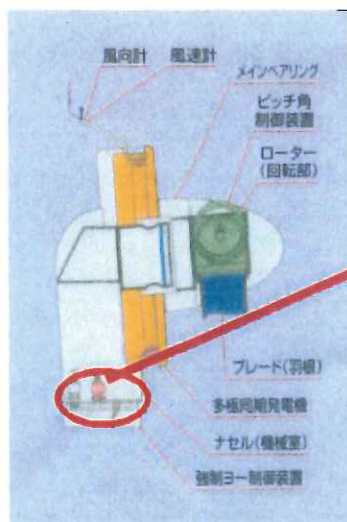


↑ 耐雷ブレード(先端部をアルミ化)

ブレード損傷状況



4号機故障 (ヨーギア故障の状況)



故障復旧費用 **33,000** 千円

ピニオン腫下状況



ヨーギア軸の破損状況 (上部側)



ヨーギア軸の破損状況 (下部側)



落下したピニオン